

第3回 BPM-Jフォーラム

～ ビジネスプロセスマネジメントの魅力と実像 ～

BPM実践の方法と技術

開催日時：2006年10月30日(月)

- フォーラム 10時00分～17時30分 WTCコンファレンスセンター(世界貿易センタービル3F)
- 交流会 17時45分～19時30分 浜松町東京會館(世界貿易センタービル39F)

開催場所：WTCコンファレンスセンター 東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル3F

主催 **日本BPM協会**

特別協力 WfMC (Workflow Management Coalition)

後援 特定非営利活動法人ITコーディネータ協会

社団法人情報システム・ユーザー協会 社団法人企業情報化協会

協賛 アイログ株式会社/NECソフト株式会社/NTTデータ株式会社/ソラン株式会社/
日揮情報ソフトウェア株式会社/日商エレクトロニクス株式会社/
株式会社日本能率協会コンサルティング/日本ティップソフトウェア株式会社/
日本プロセス株式会社/マイクロソフト株式会社 <あいうえお様>

企画協力  株式会社 G-MAC

ITコーディネーターの方必見!
ITコーディネータ協会の
知識ポイント対象講座

(順不同)



日本BPM協会

〒105-8534 東京都港区虎ノ門4丁目3-1 城山トラストタワー 35階(日本能率協会コンサルティング内)

URL <http://www.bpm-j.org> TEL 03 (3434) 3545 FAX 03 (3434) 6430

日本BPM協会を本年1月に設立以降、多くの方々のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

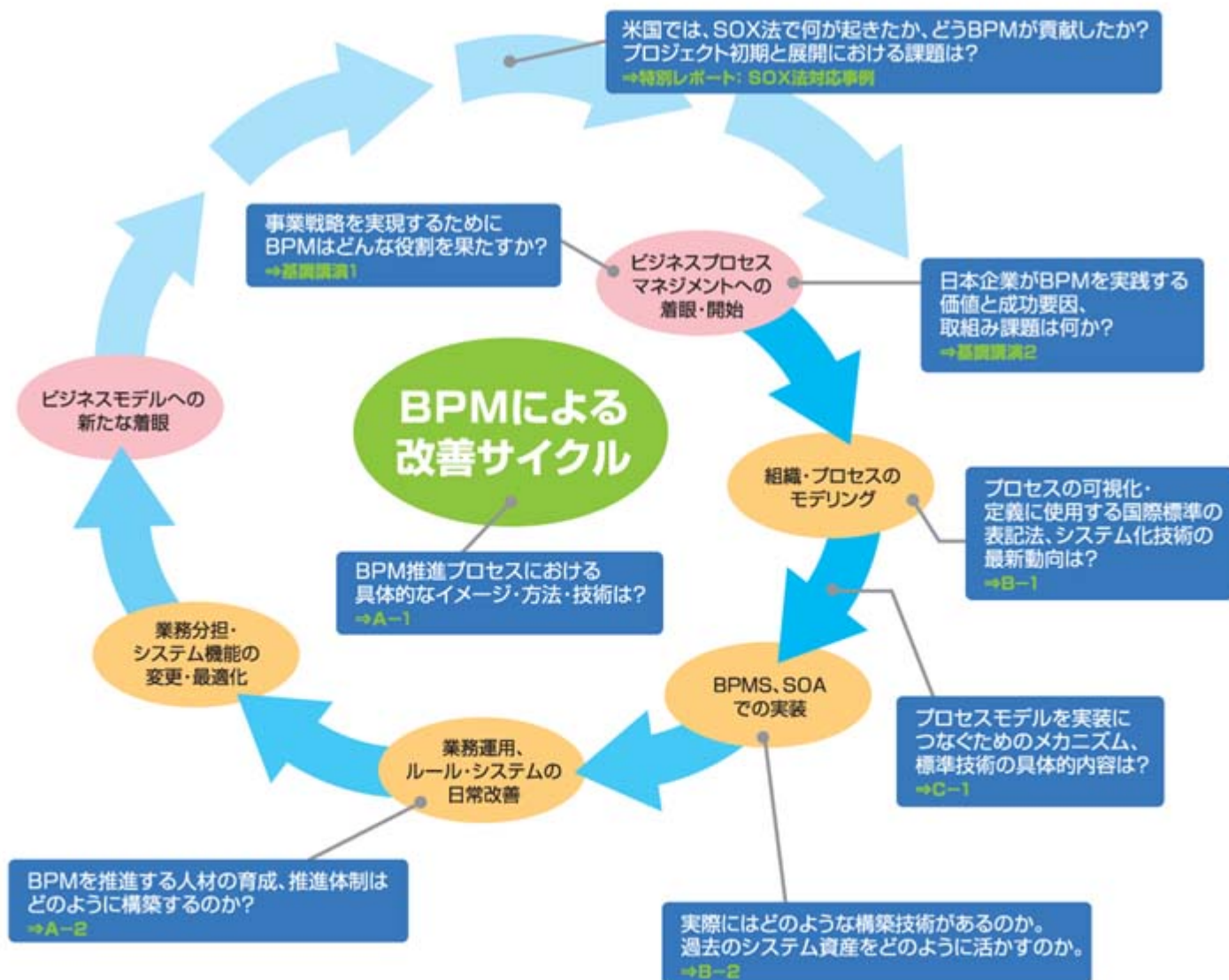
この度、第3回 BPM-Jフォーラムを開催する運びとなりました。ビジネスプロセスマネジメント(以下:BPM)の概念および基本的な手法は既に欧米では実績が出ており、国内の経営者の関心も非常に高まっております。日本においてもBPMは、ビジネスプロセスを事業戦略に適合させる経営手法として、まさに実践段階を迎えていると言えるでしょう。今回のフォーラムでは、このBPM手法について2つの視点からご紹介いたします。

- 企業経営の視点から
 - ・企業経営と事業戦略において、どのような価値をもたらすか
 - ・日本企業は、BPMをどの領域に、どう適用するか、そのための体制・人材は?
 - ・内部統制への適用のポイントは何か
- BPM構築・技術の視点から
 - ・BPM技術の最新動向
 - ・BPMシステム構築技術: ヒューマンBPMとEAI・SOAについての最新情報
 - ・BPMシステム構築技術: BPMN/XPDL/BPELの概要および詳解

特に今回は、BPM技術動向および米国SOX法対応事例についてはWfMC (Workflow Management Coalition)との連携により実現いたしました。WfMCは、ビジネスプロセスのモデル化ルール、自動化技術の国際標準の策定機関として活発な活動を行なっている団体です。本フォーラムが、経営の改善サイクル確立の取り組みに役立つ事を願っております。ご多忙中とは存じますが、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日本BPM協会
会長 秋山 守由

BPMによる改善サイクルイメージと、本フォーラムの焦点



■ プログラム

10:00～10:10

開会

10:10～11:30

基調講演1：オペレーションエクセレンスを実現するBPM&ワークフロー
Operational Excellence: Business Value of BPM & Workflow by Jon Pyke WfMC Chair

11:40～12:30

基調講演2：経営の改善サイクル実践への方法と技術
Management Improvement Cycle by Human and IT by 秋山 守由 日本BPM協会 会長

マネジメント視点

BPM構築視点

BPMS技術視点

13:30～14:20

A-1
BPM適用のプロセスと方法
Concepts & Methodology
岩田 アキラ
日本BPM協会 運営幹事

B-1
BPM技術の最新動向
Trends for BPM BPMN/XPDL/BPEL
by Keith Swenson (fujitsu)

14:30～15:20

A-2
BPM人材と組織の開発
BPM human resources
Development
丸山 則夫 日本BPM協会 理事

B-2
BPM構築方法の類型
Human BPM vs EAI & SOA
by Dr Michael zur Muehlen
(Stevens Institute)

C-1 BPM技術詳解
Tutorial Workshop
by WfMC
BPM Technology XPDL
and BPMN
by Robert Shapiro
(Global360) and
Justin Brunt(TIBCO)

15:40～17:30

特別レポート:SOX法対応事例
第1部 米国におけるSOX法対応と
BPM:業務リスク問題への経営幹部の取組み
SOX/operational risk issues for managers Dr Michael zur Muehlen
(Stevens Institute) and Jon Pyke(WfMC Chair)
第2部 現実的なSOX対応課題とBPM活用 ディスカス
(参加者とのQ&Aを中心に)

17:45～19:30

交流会

プログラムは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

■ 講演者のご紹介

Keith Swenson

WfMC Technical Committee Chairman and VP
of R&D, Fujitsu Computer Systems Corporation

現在は WS-CAF and ASAP!に取り組み中。MS2.Netscape, Ashton Tate等の製品開発
チームの支援部隊の指導的立場。WfMCの技術委員会の議長。2004年ワークフローの
分野で特に貢献が認められた技術者に送られるマンハイム賞を受賞。

Justin Brunt

Chair (Europe) of the WfMC's Steering Committee and
Senior Product Manager, TIBCO Software

Staffwareに入社して以来12年間 Workflow/BPMの分野で活躍。1994年から技術部門
の執行役員。WfMCの運営委員会の副議長、欧州地区の代表を務めるWF-XMLとXPDL
の標準化を推進。

Jon Pyke

WfMC Chair and CTO, TheProcessFactory

25年以上オフィスとワークフロー技術に携わってきた。過去11年間 Staffware社の
CTOを勤めBPMソリューションを中心とした活動を実施。AIMの名誉賞、WfMCのマン
ハイム賞(2003年)を受賞。

Robert Shapiro

WfMC Chair: Interface 1 (XPDL) and Senior
Vice President, Global 360

FileNet, Fujitsu, PegaSystems 及び Global 360 Business Process Management 製品
で利用されている分析、シミュレーションソフトウェアの開発を指揮。Bank One, Wells
Fargo等の金融系顧客に対してBPMソリューションを提供。

Dr Michael zur Muehlen

fellow of the WfMC and Stevens Institute of Technology

10年以上、プロセス自動化、ワークフローの分野で研究。米国、ドイツにて公共、金融、
産業、通信の分野でリエンジニアリングのプロジェクトを経験。ワークフロー管理、ビジ
ネスプロセスの制御、リソース管理、内部統制が主たる研究分野。WfMCのフェローで
ワークフローに関するISO化に寄与。

Ken Mei

Director of Technical Marketing, Global 360

ECM、BPMの標準化分野での責任者。国際ビジネス開発で情報管理、技術、ウェブマー
ケティングの指導者。香港生まれで米国民権を持ち、シンガポールで育った。流暢な
英語、中国語を話す。

秋山 守由

日本BPM協会 会長

株式会社日本能率協会コンサルティング 代表取締役

大手製造業を中心に、競争力強化、マネジメント革新のコンサルティングプログラムを
開発・展開した。日本能率協会コンサルティングの社長に就任後は、グローバル展開、
企業体質革新などへ事業領域を広げている。

岩田 アキラ

日本BPM協会運営幹事

日揮情報ソフトウェア株式会社 常務取締役

日揮および日揮情報システムにおいて、データベース全般にかかわるコンサルティング
を行う。現在は、日揮情報ソフトウェアにて岩田研究所を主宰。ビジネスプロセスマネ
ジメン研究の第一人者。

丸山 則夫

日本BPM協合理事

株式会社メタシトリー 代表取締役

長年、データ分析およびデータベースの設計、社内統合の情報基盤の整備、システム化
メソッド開発に従事。その後、ビジネスプロセスに着目し、通信、サービス、製造業大手
にコンサルティングを展開中。

日本BPM協会 第3回 BPM-Jフォーラム申込書

お申込はFAX で **FAX 03-3434-6430**

(2名様以上でお申し込みの場合は、申込書をコピーしてお使いください)

(フリガナ)

会社名・事業所名

部署

役職

(フリガナ)

氏名

住所 〒

TEL

内線() Fax

E-Mail

■ お申込内容 (□にレ印)

	早期割引価格(10月10日着まで)	通常価格(10月11日以降)
☐ 日本BPM協会会員	¥25,000	¥30,000
☐ 一般	¥38,000	¥43,000

■ ご出席予定をお知らせ下さい (□にレ印)

※上記価格はいずれも消費税込み

10:10~11:30	☐ 基調講演 1		
11:40~12:30	☐ 基調講演 2		
	マネジメント視点	BPM構築視点	BPMS技術視点
13:30~14:20	☐ A-1	☐ B-1	
14:30~15:20	☐ A-2	☐ B-2	☐ C-1
15:40~17:30	☐ 特別レポート&ディスカス		
17:45~	☐ 交流会		

■ 会場地図



● 電車でお越しの場合

JR (山手線/京浜東北線)・東京モノレール浜松町駅と直結
都営地下鉄(浅草線/大江戸線)大門駅と直結(B3出口)

● お車でお越しの場合

最寄りの首都高速道路出入口 ・環状線 芝公園ランプ または 汐留ランプ
・東京高速道路線 新橋ランプ
・1号羽田線 芝浦ランプ

ITコーディネータ知識ポイントについて

本フォーラムにご参加のITコーディネーターの方には、出席時間に応じた知識ポイントが付与されます。
ご希望の方は当日お渡しする申請書類にてお申し出下さい。

<お問合せ先>

日本BPM協会 事務局 TEL 03-3434-3545

受付時間10時~17時(土・日・祭日を除く)

E-mail: forum@bpm-j.org

なお、本フォーラムにお申し込みいただいた方に、小会より各種ご案内をお送りする場合がございます。ご案内を希望されない場合は、□に×印をご記入ください。

☐

※本個人情報、小会活動における、イベント、セミナー、アンケートのお願いなどに活用させていただくことがあります。小会は、収集した個人情報を適切に取り扱い、第三者への提供はいたしません。本情報の訂正、削除などをご希望される場合には日本BPM協会事務局までご連絡ください。